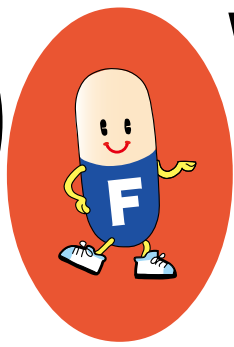


POWER!



2018年
1月
vol. 55

平成30年(2018年)
1月20日発行

発行所 ● 日本薬剤師連盟
〒160-0004
東京都新宿区四谷4-3
四谷トーセイビル2階
TEL (03) 3225-3100
FAX (03) 3225-3200
発行月 ● 隔月(奇数月)発行

<http://www.yakuren.jp>

平成30年度 診療報酬改定率決定!!

加藤厚生労働大臣と麻生財務大臣は12月18日(月)、平成30年度予算について折衝を行い、診療報酬本体、薬価・保険医療材料価格等の改定内容を確認した。医科1:調剤0.3の配分比率が維持され公平な改定となった。

- (1) 診療報酬本体+0.55% (国費+600億円程度)
 - 内訳) 医科 +0.63%
 - 歯科 +0.69%
 - 調剤 +0.19%
- (2) 薬価・材料
 - 内訳) 薬価 ▲1.36% (国費▲1,500億円程度)
 - ※下記(3)①の効果を含まれた影響は▲1.65%
 - 材料 ▲0.09% (国費▲100億円程度)
- (3) 診療報酬・薬価等に関する制度改革事項
上記のほか、次の項目について措置を講ずる。
 - ① 薬価制度の抜本改革 (国費▲300億円程度)
 - ② いわゆる大型門前薬局に対する評価の適正化 (国費▲60億円程度)

新春を迎えて

日本薬剤師連盟会長 **山本 信夫**



全国の薬剤師の皆様には、お健やかに輝かしい新年をお迎えになられたこと、お慶び申し上げます。

昨年は、薬剤師、特に薬局薬剤師には、これまで以上に厳しい環境の中で業務に励まれたのではないでしょう。偽造医薬品の流通問題の発生、相次いだ不正請求事案の発覚、経済財政諮問会議の民間議員意見や財政制度等審議会の決議、更には行政改革推進会議による秋レビューにおいて、調剤報酬に対して大変厳しい指摘が出され、逆風吹きすさぶ中での診療報酬・調剤報酬改定と薬価改定が行われることになりました。

診療報酬・調剤報酬改定においては、大変厳しい状況の中、報酬本体は引き上げ改定となり、更に公平な改定が維持できたと考えています。これも全国皆さんにご協力をいただいた連盟活動の成果と受け止めております。しかし、通常改定とは別に、特定の薬局を対象とした適正化が行

われたことは大変残念であります。

さて、厳しい環境の中で、次期参議院議員選挙を目指して、昨年(の)定時評議員会で組織内統一候補を決定できたことは、日本薬剤師連盟にとって久しぶりの明るい出来事であったと喜んでおります。組織内統一候補となった本田あきこ氏を副会長に迎え、昨年3月末より全国訪問活動を開始しました。イメージカラーをオレンジにし、室内ポスター、名刺型広報用資料、挨拶動画を作成して後援会活動に活用していただいています。また、等身大パネル、後援会連絡所の立て看板等も作成することとしております。

本年は、全国の支部訪問を予定しており、これまで以上のご支援を賜らなければなりません。笑顔のゴールを目指してがんばりましょう。本年が皆様にとって素晴らしい一年になりますことを祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

新年を迎えて

日本病院薬剤師連盟会長 **木平 健治**



新年明けましておめでとうございます。昨年は、衆議院選挙にて松本先生、渡嘉敷先生、逢坂先生が当選され、薬剤師議員の4名を確保できたことを喜ばしく思っています。

本年は、第7次医療計画および介護保険事業計画に基づき、病院機能分化をはじめ医療・介護提供体制の変革が一層進むことが推察されます。病院薬剤師は、病棟業務の充実に加え、新たな外来業務の展開、さらには、薬局薬剤師や他職種との医療連携などの業務改革により、活躍する場も施設内から地域へと広がるものと期待しているところです。

一方、これらの業務改革に加え敷地内薬局の問題など、様々な課題も生じています。このような環境の中で医療の質と安

全の確保という薬剤師の本来の使命を果たすためには、法的な裏付けと経済的な裏付けが必須です。法律を審議する国会に我々の代表である薬剤師議員がおり、我々のために活躍し、ご支援を賜れることは心強い限りです。

日本病院薬剤師連盟は、病院・診療所・介護保険施設に勤務する薬剤師の職能拡大と地位向上を目指し、私達の代表として一人でも多くの薬剤師議員を国会に送るために活動しております。

今回の参議院選挙には薬剤師である本田あきこ氏の立候補が予定されております。本年も引き続き日本薬剤師連盟と連携を取り、活動を行ってまいりますので、ご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶と致します。

新しい年に想う

日本女性薬剤師連盟会長 **近藤 由利子**



二〇一八年の新春をお慶び申し上げます。

各位におかれましてはめでたく新春のご祝詞を交わされた事と存じます。毎々ご懇切なご指導ご懇情を賜りあらためて厚く御礼申し上げます。

昨今の医薬情勢のめざましい進歩発展に伴い、私も日本女性薬剤師会並びに女性薬剤師連盟では頭学の精神に基づいて、自己研鑽に励んでおります。その折、各方面からお集まりいただいた機会に交流を深めるべく各地の名所・古跡など巡りながら親しい交友関係を醸成することに努めております。

バスの中では会話がはずみ新しい交友関係が生まれます。

さて、ご高齢を迎えられた天皇皇后陛下のご退位が決まりました。

長い間本当にお疲れ様でございます。そして心から感謝申し上げる次第でございます。新しい天皇陛下をお迎えして、ますますご指導が行われます。

平成という年号も平成三十一年に終わる年号も改まります。

皇太子さまのご即位を清々しい気持ちで迎えたいと思っております。最後になりましたが藤井もとゆき先生の後継として本田あきこ氏が立候補することになりました。あらゆる会を通し女性薬剤師一丸となって応援致します。本年も何卒よろしくご指導の程お願い申し上げます。

風力計



日本薬剤師連盟
常任総務 **馬場 孝道**

戌年を迎えて

あけましておめでとうございます。本年は戌年で12の支の干支の11番目になります。

東京で犬といえば上野の西郷隆盛像の脇に座って居る犬と渋谷の忠犬八公が有名です。犬のイメージとしては、忠義・実直・勤勉などです。戌の日には安産祈願をする風習も根強く残っています。そんな戌年を新しく迎えるに当たり準備万端整えることが多くあります。薬局経営の安定にむけての介護・医療同時改定の準備と後発品累計率の向上、かかりつけ薬局・薬剤師の定着、実務実習指導薬剤師の指導薬剤師新コア対応などやらなければならないことが多くあります。そんな中で東京では2月から全国に先駆けて本田あきこ支部訪問が始まります。東京は12の医療圏があり1医療圏を1日かけて回ります。12日間の日程です。そのためには地区薬剤師会が医療圏ごとの会合を開催して担当者を決め薬局を選定して効率よく訪問をして最後に集会をして終了です。どの医療圏が最も充実した訪問を競い合う事も大切だと思います。より真面目に実直に実行あるのみです。同じことを何回も実行することがいかに難しいことかをよく理解し、継続し、実行することだと思えます。東京全体がパブプロフの犬にならぬように自ら考えて行動するようにならぬように思います。西郷さんの犬や忠犬八公に恥じない東京の行動に期待して頂けるように頑張りたいと思います。それでは皆様にとって良いお年となりますように。

青森県



11月23日、青森県を訪問し、第36回青森県薬剤師会学術大会に出席し、挨拶を兼ねた講演を行った。

山形県



11月12日、山形県を訪問し、本田あきこを励ます会に出席した。薬剤師連盟の役員その他、医薬品卸業協会、登録販売者協会、庄司大石田町長、山口天童市議会議員も参加された。

岐阜県



11月18日、岐阜県を訪問し、県薬主催のコンプライアンス研修会において挨拶を行った。医薬分業制度を定着させるための将来への思いと決意を表明した。

広島県



11月19日、広島県を訪問し、薬剤師学術大会、星薬科大学広島県支部の集い、「これからの医療と薬剤師を語る会」に出席した。学術大会会場では、会のマスコットのヤクザイクんと写真撮影を行った。

山梨県



11月9日、山梨県薬剤師会理事会に参加し、挨拶を行った。新たに作成したオレンジはっぴを役員に来ていただき集合写真を撮った。

全国訪問の旅、昨年未までに45都道府県終了!!

本田あきこ 副会長、
全国訪問の旅



薬剤師に聞いてみよう!

日本薬剤師連盟副会長

https://www.honda-akiko.jp/

新しい
室内用ポスターを作成!!

本田あきこ中央後援会では、新たなポスターと名刺型資料を作成した。等身大パネル、連絡所立て看板も今後作成する予定である。

豆知識

薬剤師問題議員懇談会

自由民主党に属しており、かつ、薬剤師問題に関心を持っている国会議員により構成されているのが「薬剤師問題議員懇談会」です。懇談会規約では、その目的を「本会は、医薬品並びに医療に関する薬剤師の諸問題を研究することを目的とする」と規定されています。

また、懇談会への入会を募る趣意書では「変革する医療行政の中で、薬剤師がより質の高い医療を目指して、医薬分業を推進し、医薬品の管理供給に対し、社会的責任を遂行するために、日本薬剤師会は活動している。この活動に対し、多様化する医薬品及び薬剤師問題について研究するとともに、新しいニーズに応える政策を実現するため、薬剤師問題議員懇談会を拡充再編成することにした」と記載されています。

つまり、この懇談会は、日本薬剤師会の活動を研究し、薬剤師に関する政策を

実現するとしており、薬剤師の応援団的政治集団と理解されています。

薬学教育6年制が実現できたのも、平成14年に、この懇談会の中に「薬剤師教育問題検討チーム」が設置され、集中的に議論がなされたことが大きな要因となったと言えます。その後も、毎年のように会合が開催され、本連盟と日本薬剤師会が招かれ、日本薬剤師会が抱える課題等について説明し、意見交換を行ってきました。

現在の懇談会会長は伊吹文明衆議院議員、会長代行兼幹事長に松本純衆議院議員、事務局長に藤根基之参議院議員、事務局次長にとかしき なおみ衆議院議員が就任しており、加入議員数は、衆議院議員192名、参議院議員62名の254名となっています。

入会を希望する国会議員は、地元の薬剤師連盟の推薦が必須となります。

自民党薬剤師問題議員懇談会が開催される!



11月21日、薬剤師問題議員懇談会の世話人会と総会が開催された。日本薬剤師連盟からは山本会長ほか役員が出席し、また、日本薬剤師会から森副会長が出席して、「次期診療報酬改定における公平改定の維持」、「かかりつけ薬剤師・薬局機能の充実・強化」等の予算要望、敷地内への薬局誘致問題等について説明が行われ、意見交換がなされた。

ファーマくんがゆく

日本薬剤師連盟 岩本研幹事長をお訪ねしました



「ファーマくんがゆく」の日本薬剤師会副会長シリーズが昨年9月号(vol.53)にて終了しました。今月号からは日本薬剤師連盟の役員のことを会員の皆さんにもっと知ってもらおうと、新たなシリーズをスタートします。初回は岩本幹事長からお話を伺うこととしました。

ファーマくん：以下、ファーマ 岩本幹事長こんにちは、ファーマです。まず、新たな年を迎え、会員の皆さんに向けて、新年のご挨拶をいただけないでしょうか。



岩本研(いわもとけん)幹事長プロフィール

- 昭和51年第一薬科大学卒業。
- 平成18年より平成24年まで和歌山県薬剤師会会長。
- 平成26年より本連盟副会長兼幹事長。
- 平成29年より同幹事長。

岩本幹事長 POWER! 新年号をご覧の皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年一年間で44県の薬剤師会に訪問させていただき、政治力の必要性について皆様と議論させていただきました。その際は都道府県薬の皆様には大変お世話になりました。

さて次期参議院選挙まで残り一年半を切りました。本年2月から全国キャラバンを再開します。県薬の皆様には御苦勞をおかけしますが宜しくお願い致します。

ファーマ 岩本幹事長は大変ユニークなキャラクターをお持ちだとお聞きしています。楽しいお話の前に、まず、これまでの主な略歴を教えてください。

岩本幹事長 1950年4月の五黄の寅生まれです。あと2年で古希を迎えます。1976年、第一薬科大学卒業後某会社に勤務、1986年、有限会社岩本薬局に勤務、現在に至ります。

1998年より和歌山県薬剤師会常務理事、2002年より和歌山市薬剤師会会長、2006年より和歌山県薬剤師会会長、2007年より日本薬剤師連盟副幹事長、現在同幹事長を拝命しています。常務理事時代に日本薬剤師会分業対策委員を務め、未完成の分業に對しなんとかならないのか?との思いで現在連盟でその達成を夢見て奔走しています。

ファーマ 大学時代の思い出を教えてくださいませんか。相当楽しまれたとお聞きしました。
岩本幹事長 大学時代は勉強は全く

しないで、昼間はバスケット、夜は居酒屋(キャバレー)の毎日でした。おかげで卒業まで6年を要しました。現在薬学部は6年ですが、その先駆であったと自負しています。然しながら国家試験は食べて行く為必要との考えから一回で通りました。

ファーマ 卒業後のお仕事は順調だったのでしょうか。忘れられない出来事などを教えてください。

岩本幹事長 卒業後は実家が薬局だったので、有限会社岩本薬局に就職しましたが、社長(親父)とのけんかの毎日で3カ月で辞め、会社務めを9年間して現在は実家の薬局の代表取締役として、数店舗を経営しています。

ファーマ 奥様はじめ、ご家族のことを教えてください。大変奥様を愛しておられるとお聞きしましたが、なれ初めなどもお聞きしたいです。

岩本幹事長 家内は熊本の生まれで、大学が博多にあったのでそこで知り合いました。これも大学生生活を6年経験させていたいたおかげと思っています。家族は1男、2女で娘二人は薬剤師で一人は後を継いでくれています。

ファーマ 夫婦がうまくいく秘訣を教えてください。

岩本幹事長 昔はよく喧嘩しました。今はやっても負けるので、私から折れます。うまくいく秘訣は隠し事をしないこと、話をよく聞いてあげること、悪い時は謝ることだと思います。

ファーマ 次に、政治連盟への関わりについてお聞かせください。和歌山県及び日本薬剤師連盟での政治活動や選挙対策等における、思い出深い出来事等を教えてくださいませんか。

岩本幹事長 高校の友達が衆議院選挙に出馬したことが政治との最初のかかわりだったと思います。その経験が今の政治連盟でもいかされているのかなと思います。思い出深いことは和歌山市長選挙で前述の同級生が出馬した時、

おまわりさんに御厄介になったことでした。容疑は選挙妨害でしたが、その時一番感じたことは信念を持つことだと思いました。結局不起訴になり、私を追求した警察官はその後更迭されたのではないのでしょうか。悪いことは何一つないとの強い信念を持って臨むことであるとあらためて思いました。

ファーマ ところで、人生における好きな言葉、モットー、趣味等を教えてくださいませんか。

岩本幹事長 好きな言葉は七転び八起き、モットーは走りながら考える、趣味はゴルフです。

ファーマ 最後に、日本薬剤師連盟の幹事長として、最も力を入れていきたいことを教えてください。

岩本幹事長 昨年の評議員会でご決定いただいた組織内候補を国政に送り出し、昭和30年1月1日施行予定であった強制医薬分業法(医師法、歯科医師法、薬剤師法の一部を改正する法律)の実現を目指すことです。

ファーマ 本日は、貴重かつ楽しいお話をありがとうございました。これからも薬剤師のために活躍いただくことを期待しております。



平成29年度組織強化に関する担当者全国会議 開催される

「あい、きぼう、これからの医療と薬剤師!」をサブテーマとして11月30日スクワール麹町で開催された。参加者は都道府県組織強化担当役員47名、組織強化委員会委員11名日本薬剤師連盟四役9名、常任総務5名、ブロック総務11名であった。



山本会長の挨拶後、藤井基之参議院議員より挨拶、丹下常任総務より「組織力を強化するための手順書について」、荻野副会長より「活動実施用資材について」、岩本幹事長より「全国支部訪問について」説明され、その後グループ別協議を行い、その内容について各グループより発表し、各担当者もこれまで以上に決意新たにされました。尾島副会長の閉会挨拶で終了した。

JPLフォーラム2018 開催決定!

平成30年2月11日(日)、東京都千代田区主婦会館プラザエフにて「JPL (Japan Pharmacist Ladies) フォーラム2018」が開催される。各都道府県薬剤師連盟より2名の女性薬剤師が参加し、「あい、きぼう、これからの医療と薬剤師～主役は女性です～」をテーマに、地域における女性薬剤師の活躍を活性化させるための議論を行う予定。

会長及び監事選挙並びに候補者届出の受付に関する公示

日本薬剤師連盟 会長 山本 信夫

本連盟の平成29年度定時評議員会を平成30年3月38日(水)に開催いたします。当日は、本連盟の「会則」「会長及び監事選挙規則」及び「同規則施行細則」により、平成30年4月1日から平成32年3月31日までを任期とする次期会長1人、監事3人の選挙を行います。自ら候補者になろうとする会員、候補者を推薦しようとする会員は、下記により届け出下さい。

記

- (1) 候補者の資格は平成30年1月27日までに都道府県薬剤師連盟に入会手続きを完了している会員に限ります。
- (2) 届出の受付期間は、平成30年2月26日(月)から3月13日(火)までの午前9時から午後5時までとし、本連盟事務所受付となります。但し土曜日、日曜日と祝日を除きます。
- (3) 届出の締切日時は平成30年3月13日(火)午後5時です。締切日時後の届出は受付られません。郵送による場合は、必ず書留をご利用下さい。締切日時まで到着したものを有効とします。
- (4) 立候補届出書(又は候補者推薦届出書と承諾書)をはじめ、必ず添付しなければならない書類の様式は全て規定されており、本連盟規約等諸規定は、ご請求下さい。届出書一式あるいはお問合せは日本薬剤師連盟事務局へお願いします。

☎ 03 - 3225 - 3100

新年挨拶

テーマ

医薬品を取り巻く政治課題



衆議院議員 松本純

自由民主党国会対策委員会 委員長代理・薬剤師



山本信夫会長をはじめ、公益社団法人日本薬剤師会及び日本薬剤師連盟の役員並びに会員の皆様には、平素より、国民の健康維持・増進のため、其々のお立場で、薬剤師職能を發揮して頂いていることに、敬意と感謝の意を表します。

また、旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。お陰様で7期目の当選を果たすことができ、現在、自民党国会対策委員会委員長代理として、丁寧な審議を通じ、円滑な議事運営のため力を尽くしています。

さて、医薬品の供給・販売については、一昨年来議論が進められている薬価制度改革の議論をはじめ、調剤報酬を含めた薬局の役割についての課題、ICT技術を利用した遠隔服薬指導や電子処方箋などの患者の利便性から見た問題等課題は山積しています。

医薬品については、肝炎治療薬や抗がん剤などにおいて、革新的な新薬が登場し、社会保障制度における財政負担の観点から、薬価制度の見直しなどが大きな論点として取り上げられ、一方で、これらの革新的な新薬については、医薬品情報提供や医療安全の確保の点で、薬剤に関する最先端の専門知識を有する薬剤師が担う役割は、益々重要なものとなってきています。これらの高額薬剤の使用については、真に必要な患者や医薬品を使用する医師や医療機関の要件等をガイドラインとして示し、最適な使用を進める取組も始まっており、薬剤師のみならずおかれましては、これらの革新的な新薬が適切に使用されるよう、様々な情報を得ながら取り組んでいきたいと思っております。

また、偽造医薬品や薬局の保険請求の問題など、残念なニュースが続いています。国民に安心・安全な医薬品を届けることは医療の大前提であり、専門資格としての薬剤師の存在意義が問われかねないという危惧があります。個々の薬剤師の取組はもとより、薬局の開設者、管理薬剤師、勤務薬剤師といった立場を超えて、すべての関係者が、日々の業務のあり方をあらためて見つめ直し、地域住民の健康を支えるために引き締めて取り組んでいくことが重要だと思います。

そのような中で、薬剤師としては、いつでも、どこでも、どんな状況でも、患者が必要な医薬品を薬剤師が提供するという責任感を持つこと、そして、患者に医薬品を提供した後も、医薬品を適切に使うことについて薬剤師が責任を持ち、患者に寄り添うことについて、強く決意を示し、実行していくことが重要と考えます。

会員の皆様には、薬剤師・薬局の将来像を常に意識しながら地域包括ケアシステムを支える一員として、地域住民に寄り添い頼られる、かかりつけ薬剤師として信頼が得られるよう、今後も引き続き地域における活動などに取り組んでいただくことを期待しています。

私としましては、今後の動きを注視し、皆様方がよりその職能を發揮できるよう、環境整備に取り組んでまいりたいと考えております。

参議院議員 藤井基之

自由民主党組織運動本部部長代理・薬剤師・薬学博士



新年あけましておめでとうございます。日本薬剤師連盟の会員の皆様には輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年10月に行われました衆議院総選挙では、自民・公明の連立与党が3分の2を超える議席

を確保することができ、引き続き安定した政権運営を担えることになりました。ご支援を頂いた皆様方には、改めて厚く御礼申し上げます。

さて、本年は6年に一度の診療報酬と介護報酬の同時改定が行われます。急速な高齢化や医療の高度化に伴い国民医療費が確実に上昇する状況において、医療の効率化・適正化を図って行くことは、やむを得ない状況となっております。

こうした中、薬価については一昨年の「薬価制度の抜本改革に向けた基本方針」に基づき、薬価収載後に市場拡大した場合の再算定の仕組み、2年に1度の薬価改定の中間年の改定のあり方、新薬創出・適応外薬解消等促進加算制度の見直しなど、国民皆保険制度の安定的な維持と医療分野のイノベーション推進を如何に両立させていくかが大きな課題となっております。また、調剤報酬については、「患者のための薬局ビジョン」の実現に向けて、患者にとって付加価値のある業務への取り組みを一層促進する、よりメリハリの効いた薬局の評価が求められるようになってきています。

団塊の世代が75歳を迎える2025年を控え、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を目指した地域包括ケアシステムの構築が進められています。「かかりつけ薬剤師・薬局」、「健康サポート薬局」など、薬剤師が地域医療の担い手の一人として、医療機関の薬剤師との連携はもとより、医師や看護師等の医療専門職、介護施設とも綿密に協力して、疾病の予防や早期発見、薬の適正使用や副作用防止など、その役割を果たして行くことに大きな期待が寄せられています。

薬剤師の皆様方の益々の活躍、ご健勝をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

衆議院議員 逢坂誠二

衆議院予算委員会筆頭理事・薬剤師



明けましておめでとうございます。山本信夫会長をはじめ、会員の先生方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

会員の先生方のご支援を賜り、昨年10月に行われた総選挙において、逢坂誠二は4回目の当選をさせていただきました。心から感謝申し上げます。皆様のご支援に感謝するためにも、衆議院議員として全力で取り組む所存でございます。

逢坂誠二は、現在、衆議院予算委員会の野党筆頭理事、法務委員会委員などを拝命しております。党においては、政調会長代理を拝命し、立憲民主党の政策の実務的な責任者となりました。日本の政治の動きは変化を遂げようとしています。私たちが野党の国会議員の責務は行政府の動きをしっかり監視し、その行き過ぎを抑えるという役割を負っています。機械的な社会保障予算の削減など、政府の政策には負の側面もあり、監視と是正を行っていかねなければなりません。

この原稿を先生方が読まれる時点では、中医師協会の2018年度の診療報酬と介護報酬の同時改定の議論は決着していると思われませんが、現時点で政府はこの診療報酬改定で全体の改定率をマイナスとする方針を固めています。その中で、医師や薬剤師などの技術料にあたる「本体」部分は微増としつつ、医薬品などの価格である「薬価」部分を大幅に引き下げ、差し引きでマイナスにする方向で調整が行われると報じられていますが、財政規律の論理だけで機械的に薬価を削減することは国民の健康や生命を損なうものです。国民にとって正しい判断がなされるように働きかけていくことが私たち薬剤師資格を持つ国会議員の役割だと改めて自覚し、全力で取り組んでまいります。

本年も微力ではありますが、会員の先生方のために精一杯働く所存でございます。

この一年が皆様にとりまして良い年となりますように心からご祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

●とかしきなおみ衆議院議員は、環境副大臣就任中のため、ご挨拶の掲載は控えさせていただきました。

編集後記

先日新しくオープンする医療センターの内覧会と竣工式に招待された。地域で40年間、総合病院として長きに貢献してきた病院の移転である。駅に近かったこともあり、毎日700〜800人の患者が来ていた。今度は少し離れるので駅前からシャトルバスが出るようになった。駐車場289台、1日約1300人の外来患者を想定、約1000人の病院スタッフが行動する一大企業が生まれる。年末年始で大移動。1月1日にオープンする。コンセプトは「地域に根ざし、地域を元気づけ、地域を永く支える病院」。内覧会は初日は市民が6000人来たとのこと。

2日後は地域の医療関係者、行政の方々、建設に携わった方々をたくさんの方々が出迎えてくれた。

この場所は東洋大学の跡地でもあり、ともすれば硬くなりがちな病院の内装を、東洋大学ライフデザイン科の学生とケヤキの木を再利用して所々にちりばめ完成させた。ホスピタルアートだ。7階建の6階は広々とした緩和ケア病棟。自然光が一杯、景色が開けた、心が和む。検査室の様々な検査機器、手術センター、日本一と言われるてんかんセンター等、診療科は28、入院室446床。私たちの街の地域医療の要になることが確信できる。

薬剤師も見学した。現在いる33名はきついようだ。28の診療科の各要所に薬剤師が配置される。もちろん院外処方ではあるが休日、祝祭日の問題もある。始まってみたいとわからない。

今の病院が引越すと我が薬局から遠くなる。毎日のようにいろいろな方々から、向こうに行くの？と聞かれていた。その度に、ここで出会った皆さまとの縁を大切にしたいのでここにいますとお応えしてきた。40%の処方箋率が下がることは必須だろう。地域の医療を支える小さな薬局の役目を踏ん張りたいと思う。

この4月、医療と介護のダブル改定となる。しかしこの改定は、さらにその先平成36年を見据えた序章であると言われている。薬剤師会だけが取り残されないように、未来への道を繋げたいと年初めに考えた。

広報委員

- 安東 哲也、石井 甲一
- 小野 春夫、鳥海 良寛
- 大澤 泰輔、大原 整
- 近藤直緒美、渡邊美知子

(M・W)